

OED第2版に収録されている日本語について

北島 克一

1. はじめに

近年貿易面における日米または日欧の imbalance の是正を求める声がかまびすしい。商品の場合、品質が良く、格安で且つアフターサービスが行き届いていれば、広い販路を得て売上げが伸び、国境を越えて世界に向かって輸出される。すなわち、経済的観点に立つと国境は撤廃されつつあり、好評な日本商品は大幅な輸出超過となっている。

言語の面における輸出入はどうなっているのだろうか。日本の街には大量の外国語——中心は英語であり、その中には少なからざる和製英語が含まれるが——が溢れていて輸入超過のように思われる。言語の面においても、商品の面におけると同様に国境という壁は低くなりつつあるように思われる。

そもそもある国の言語が他の国に採り入れられるためには、どのような条件が必要であろうか。

第1に採り入れられる言語を有する国は、その言語を採り入れる国よりも強大で且つ文化的に優れていなければならない。すなわち、政治的・経済的・軍事的あるいは文化的に優れた国とそうでない国が接触した場合、後者は前者を見習い、前者の進んだ制度、産物、文化などを採り入れようとする。しかし、後者の国にはそれを適確に表現する語彙（対応語）を欠くものである。このような場合、前者の語彙は後者にそのまま採り入れられてしまう。しかし、後者といえども、その国独自の文化、歴史、制度、

産物あるいは自然環境を有するものである。そしてこれらに対応する語を前者は有していない。それ故、後者独自の文化、歴史、制度、産物あるいは自然環境などを表現するためには、前者は後者の語彙を採り入れることになる。但し、後者は進んだ前者を見習い、模倣しようとするので、当然後者は前者からより多くの語彙を採り入れる。

第2の条件は、言語の持つ修飾的な役割¹⁾である。すなわち、外来語を用いなくても全く同義語が国内に存在して十分に対応できるにも拘らず、外国から採り入れた語彙を用いる場合である。この場合はその採り入れた語彙の属する国は自国より文化の進んだ先進国でなければならない。自国よりも高い文化、あるいは文明を有する国の語彙を使うことによって、自己の有する知識あるいは所有物を他人に対して、より高尚なもの、または素晴らしいものとして誇示しようとする心理作用から発するものである。

以上2つの条件の他に、日本の場合この国が置かれた特殊な状況によって生まれた条件が考えられる。それは日本は四十九年前にアメリカ合衆国を中核とした連合軍と戦って敗れ、ポツダム宣言を受諾して無条件降伏をした。その後1951年に平和条約を締結するまでは、政治、行政、文化、教育等あらゆる面に渡って連合軍の支配下にあって、好むと好まざるに拘らず、連合軍の命令・勧告によってこの国は運営されなければならなかった。したがって、連合軍の中核であるアメリカの強い影響を受けた。その際アメリカの文化、文明、産物等を表現する日本語の対応語が国内に存在しない場合は、そのまま英語が採り入れられて用いられるようになった。²⁾

以上考察したような様々な条件の中、第1及び第2の条件は、ある国の言語が他の国の言語に採り入れられる普遍的条件について述べたのであるが、明治以来のこの国の脱亜欧入の姿勢に窺い知ることができるように、この国は欧米を高い文化を有する先進国と考えていたので、言語を採り入れる場合に、(文化の低い国＝日本)と、(文化の高い国＝欧米)としての原理が働くことは十分に考えられる。すなわち、第1の条件及び第2の条

件の当事者として日本と欧米を考えた場合、(言語を採り入れる国＝日本)と、(言語を採り入れられる国＝欧米)の図式が成立することになる。したがって、この国が採り入れた英語の語彙数は、英語国が採り入れた日本語の語彙数を上回るであろうことは容易に想像できる。便宜上、それぞれの外国語の採り入れ数を辞書によってみると、この国にとって膨大な輸入超過であることが分かる。³⁾

2. OED第2版に収録されている日本語

現実に英語の辞書にどのような日本語が収録され、どのように定義されているかを英国の代表的辞書であり、同時に世界で最も権威あるOED⁴⁾に基づいて検索を行うことにする。幸い第2版のCD-ROMを入手することができたので、コンピュータを利用して検索することができた。検索した語彙をアルファベット順に並べ、日本語を加えて次の一覧表を作成した。

尚、収録一覧表の作成にあたっては次の基準に従うことにした。

- a. 同じ語彙を言い換えたもの及び関連語は同じ番号の下で扱う。
- b. 国名、地名などは採らない。
- c. 人名及び人名などに接尾語の付いたものは採らない。
- d. 大文字で始まる語は、そのまま大文字で始める。

1. adzuki, astuki, adsuki, adzuki (小豆)
2. aikido (合気道)
3. amado (雨戸)
4. aucuba (《樹木》青木)
5. awabi (鮑)
6. bai-u (梅雨)
7. banzai (万歳)

8. baren (《木版》馬連)
9. bekko (べっ甲)
10. bonsai (盆栽)
11. bunraku (文楽)
12. bushido (武士道)
13. daimio (大名)
14. dairi (内裏)
15. daisho (《刀》大小)
16. dan (段)
17. dashi (《料理》出し)
18. dojo (道場)
19. Eta, eta (穢多)
20. fusuma (襖)
21. futon (蒲団)
22. gagaku (雅楽)
23. geisha (芸者)
24. genro (元老)
25. geta (下駄)
26. go (碁)
27. gobang (碁盤)
28. habu (《蛇》はぶ)
29. haiku (俳句)
30. hakama, hakkma (袴)
31. hanashika (咄家)
32. haniwa (埴輪)
33. haori (羽織)
34. happi-coat, happy- (法被)

- 35. harai-goshi (《柔道》払い腰)
- 36. harakiri, hari-hari, hurry-curry (腹切り)
seppuk (切腹)
- 37. hatamoto (旗本)
- 38. hechima (糸瓜)
- 39. Heian (平安時代)
- 40. heimin (平民)
- 41. hibachi, hebachi (火鉢)
- 42. hinin (非人)
- 43. hinoki (檜)
- 44. honcho, hanchō (班長)
- 45. hoochie, hooch, hoochy, hootch (家)
- 46. ikebana (生け花)
- 47. inkyo, inkiyo (隠居)
- 48. inro (印籠)
- 49. iroha, irofa, irova (いろは)
- 50. ishikawaite (石川石)
- 51. itai-itai (いたいいたい病)
- 52. itzebu, -boo, ichebo, ichibo, itsi-, itzi-, -bu, -bou, -bue, -boo
(《貨幣》一分)
- 53. janken (じゃんけん)
- 54. jigotai (《柔道》自護体)
- 55. jinrickisha, jinrikisha, -rickisha, -riksha (人力車)
- 56. jito, gito (地頭)
- 57. Jodo, Jo-do (浄土宗)
- 58. Jomon, Jōmon (縄文時代)
- 59. joro, jorō, jōro (女郎)

60. joruri (浄瑠璃)
61. judo, jiudo, ju-do (柔道)
62. ju-jitsu, jiu-jitsu, -jutsu, ju-jitzu, -jutsu (柔術)⁵⁾
63. junshi (殉死)
64. kabane, kabané (姓)
65. kabuki (歌舞伎)
66. kago, cango (駕籠)
67. kagura (神楽)
68. kakemono (掛物)
69. kaki (柿)
70. kakke (脚気)
71. kamikaze (神風)
72. kana (仮名)
73. kanji (漢字)
74. karate (空手)
75. kata (《柔道》型)
76. katakana, kattakana (片仮名)
77. katana, cattan (刀)
78. katsuo (鰹)
79. katsura (かつら)
80. katuramono, kazuramono (《能》かつら物)
81. kaya (茅)
82. Kempeitai, Kempetai (憲兵隊)
83. ken, kin (間)
84. ken (県)
85. ken (じゃんけん)
86. kendo (剣道)

87. kesagatame (《柔道》袈裟固め)
88. keyaki, kiaki (榎)
89. kimon (鬼門)
90. kimono, kimona (着物)
91. kiri (桐)
92. kirin, Kirin (麒麟)
93. koan (《禅宗》公案)
94. kobang, coban, cupang (小判)
95. kobeite (神戸石)
96. kogai (公害)
97. koi (鯉)
98. koi-cha, koi cha, koicha (濃い茶)
99. koji (麴)
100. koku (《量》石)
101. kokeshi (こけし)
102. kombu (昆布)
103. koniak(u), konjak, konnyaku (こんにゃく)
104. koro, kora (香炉)
105. kotatsu (炬燵)
106. koto (琴)
107. kudzu (葛)
108. Kuge, kuge, Kugé (公家)
109. kura (蔵)
110. Kuroshiwo, Kuroshio, Kurosiwo (黒潮)
111. kuruma (車)
112. kuzushi (《柔道》崩し)
113. kyogen (狂言)

114. kyu (級)
115. maiko (舞子)
116. makimono, emakimono, makemono, maki-mono (巻物)
117. mama-san, mamasan (ママさん)
118. manyogana, manyokana (万葉仮名)
119. matsu (松)
120. matsuri (祭)
121. mebos (梅干し)
122. Meiji (明治時代)
123. metake (女竹)
124. miai (見合い)
125. Mikado, Mikaddo (帝)
126. mikan (温州みかん)
127. mingei, Mingei (民芸)
128. miso (味噌)
129. mitsumata (《樹木》みつまた)
130. mochi, musho (餅)
131. mokum, moku-me (木目)
132. mompei, mompe (もんぺ)
133. mon (紋)
134. mondo (問答)
135. moose (娘)
136. moxa (艾)
137. nakodo, nakohdo (仲人)
138. Nango (南画)
139. narikin (成金)
140. Nashiji, Nashidji (梨子地)

- 141. netsuke, netsuké (根付け)
- 142. nissei, Nissei (二世)
- 143. nogaku (能楽)
Noh, Nō (能)
- 144. nori (海苔)
- 145. norimon, nore-, norri- (乗物)
- 146. noshi, nosi (熨斗)
- 147. nunchaku (《沖縄方言》ヌンチャク)
- 148. obang (《貨幣》大判)
- 149. obi (帯)
- 150. ogoshi, ō-goshi (《柔道》大腰)
- 151. oiran (花魁)
- 152. ojime (緒締め)
- 153. okimono (置物)
- 154. omi (臣)
- 155. onnagata (女形)
- 156. onsen (温泉)
- 157. origami, origame (折り紙)
- 158. orihon (折り本)
- 159. osaekomi waza (《柔道》押え込み技)
- 160. oshibori (御紋り)
- 161. O-soto-gari, Osotogari, o- (《柔道》大外刈)
- 162. oyama (女形)
- 163. pachinko, pachinco (パチンコ)
- 164. raku (楽《焼》)
- 165. randori (《柔道》乱取)
- 166. rikka, rikkwa (《いけ花》立花)

- 167. Ritsu, Risshu (律宗)
- 168. romaji, romazi (ローマ字)
- 169. ronin (浪人)
- 170. roshi (老師)
- 171. ryo (《貨幣》兩)
- 172. roykan (旅館)
- 173. sabi (寂)
- 174. saké (酒)
- 175. sakura (桜)
- 176. samisen, shamshin, samsi, samishen, samisen, shamisen,
shamisan (三味線)
- 177. samurai (侍)
- 178. san (《敬称》さん)
- 179. sampaku (三白眼)
- 180. sansei (三世)
- 181. sasanqua, sasank(w)a (《樹木》さざんか)
- 182. sashimi (刺身)
- 183. satori (悟り)
- 184. sayonara (さようなら)
- 185. sen (錢)
- 186. sennin, sennen (仙人)
- 187. sensei (先生)
- 188. sentoku (宣徳銅器)
- 189. shabu-shabu (しゃぶしゃぶ)
- 190. shaku (尺)
- 191. shakudo (赤銅)
- 192. shakuhachi (尺八)

- 193. shatsu, Shiatsu, shiatzu (指圧)
- 194. shibui (渋い)
- 195. shibuichi (四分一)
- 196. shiitake (椎茸)
- 197. shikimi (《樹木》しきみ)
- 198. shimewaza (《柔道》締め技)
- 199. Shin, Shinshu (真宗)
- 200. Shingon, Singon (真言宗)
- 201. Shinto, Sin-to, Sintu, -oo (神道)
- 202. shishi (獅子)
- 203. sho (升)
- 204. sho (笙)
- 205. shochu (焼酎)
- 206. shogi, Sho-gi, Shongi (将棋)
- 207. shogun, shongo, seogun, s(h)iogoon, sjogun, ziogoon (将軍)
- 208. shoji (障子)
- 209. shokku (ショック)
- 210. shosagoto (《歌舞伎》所作事)
- 211. shoyu, sho-yu (醤油)
- 212. shubunkin, Shubunkin (《金魚》朱文金)
- 213. shugo, Shugo (守護)
- 214. shika (鹿)
- 215. soba (蕎麦)
- 216. sodoku (《病》鼠毒)
- 217. Sokka Gakkai, Sōkagakkai, Sokkagakki (創価学会)
- 218. soroban (算盤)
- 219. soshi (壮士)

- 220. Soto (曹洞宗)
- 221. soy (醤油)
- 222. sugi (杉)
- 223. suiboku (水墨画)
- 224. suiseki (水石)
- 225. sukiyaki, suki-yaki (鋤焼き)
- 226. sumi (墨)
- 227. sumie, sumi-ee, sumiye, sumi-ye (墨絵)
- 228. sumo (相撲)
sumotori (相撲取り)
- 229. sun (寸)
- 230. surimono (刷物)
- 231. sushi (鮓)
- 232. suzuribako (硯箱)
- 233. tabi, tapie (足袋)
- 234. tai (鯛)
- 235. tai-otoshi, Taiotoshi, tai-o-toshi (《柔道》体落し)
- 236. tan (《面積》反)
- 237. tan (《布の単位》反)
- 238. tanka, Tanka (短歌)
- 239. tansu (簞笥)
- 240. tatami (畳)
- 241. temmoku, tenmoku (天目茶碗)
- 242. tempura (てんぷら)
- 243. Tendai (天台宗)
- 244. tenko (点呼)
- 245. teppan-yaki (鉄板焼き)

- 246. terakoya (寺小屋)
- 247. teriyaki (照焼き)
- 248. tofe (豆腐)
- 249. togidashi, togi-dashi (研出し蒔絵)
- 250. tokonoma, toko, tokko (床の間)
- 251. tonari gumi, tonari-gumi, tonarigumi (隣組)
- 252. torii (鳥居)
- 253. tsuba (《刀》つば)
- 254. tsubo (坪)
- 255. tsukemono, tsukimono (漬物)
- 256. tsukuri (《柔道》つくり)
- 257. tsunami (津波)
- 258. tsutsugamushi (恙虫病)
- 259. tsutsumu (包む)
- 260. tycoon, taikun (将軍の呼称)
- 261. uchiwa (団扇)
- 262. udon (うどん)
- 263. uguisu (鶯)
- 264. uji (氏)
- 265. ujigami (氏神)
- 266. uke (《柔道》受け)
- 267. ukemi (《柔道》受け身)
- 268. ukiyo-e, ukiyoe, ukiyo-we, -ye (浮世絵)
- 269. urushi, urusi (漆)
urushiol (漆オール)
- 270. uta (歌)
- 271. wabi (侘び)

- 272. wacadash, wacca-, waka-, wag(g)dash, wakedas(s)h (脇差し)
- 273. waka (和歌)
- 274. wasabi (わさび)
- 275. yakitori, yaki-tori (焼鳥)
- 276. yakuza, yakusa (やくざ)
- 277. Yamato (大和絵)
- 278. Yamato-damashii (大和魂)
- 279. yashiki, yaski (屋敷)
- 280. yen (《貨幣》円)
- 281. yokozuna (横綱)
- 282. yugen (幽玄)
- 283. yukata, Yukata, yukatta (浴衣)
- 284. yusho (油症)
- 285. zabuton (坐蒲団)
- 286. zaibatsu, Zaibatsu (財閥)
- 287. zaikai (財界)
- 288. zazen, Sazen, Zazen (坐禅)
- 289. Zen (禅宗)
- zendo (禅堂)
- 290. Zengakuren (全学連)
- 291. zori, sori (草履)

以上OED²に収録されている日本語の一覧表を見て、当然のことながら、日本固有の文化に関するもの、日本固有の食べ物に関するもの、及び日本歴史の中心的役割を果たした人物などに関するものが多いことが分かる。また、日本固有の武道である柔道と剣道に関しては、なぜか前者に関する語が後者のそれよりずっと多い。

3. 包容力豊かな英語

第1章で述べたように、英語と日本語を比較して、それぞれの言語にそれぞれ相手の言語をどれ程採り入れたかを辞書に収録された語数で見ると、日本語の寛容な態度に対し、英語は厳しい態度を取っているように見受けられる。しかし、英語が他の言語に対してもそうであるわけでは決してない。

西暦5世紀ごろに大陸からブリテン島に移住してきたアングル族、サクソン族、ジュート族は他民族と接触を繰り返しながら、自分達が持ち込んだゲルマン系の言語に他民族の言語を吸収して、語彙を豊かにして、本来のゲルマン語とは異なる現在の英語を形成するに至っている。

P. Robertsによると、*The American College Dictionary*からの推計であるが、英語の語彙中の英語の本来の固有語は僅か14%で残りの86%は外来語であるという。その構成比率を下に引用してみよう。

ラテン語	36%
固有の英語	14%
古期フランス語（1,500年以前）	12%
近代フランス語（1,500年以降）	9%
ギリシャ語	4.5%
スカンディナヴィア語	2%
スペイン語	2%
イタリア語	1%
語源不明	6%
その他の言語	13.5% ⁶⁾

この表からも分かる通り、英語は非常に包容力が強く、世界の言語の中で最も多くの外来語を含むといわれ、その外来語は五十数か国の言語に及ぶといわれている。

但し、Robertsの研究は辞書の見出し語を単純に集計したものである。これに対し著者別に使用頻度を考慮した結果をO. F. EmersonはG. P. Marshの著作*Lectures on the English Language*より下の様に引用している。

著者	固有語	外来語
スペンサー	86%	14%
シェークスピア	90%	10%
聖書	94%	6%
ミルトン	81%	19%
アディソン	82%	18%
スウィフト	75%	25%
ポープ	80%	20%
ジョンソン	72%	28%
ヒューム	73%	27%
ギボン	70%	30%
マコーレー	75%	25%
テニソン	88%	12% ⁷⁾

いずれにせよ、英語の中に日本語が余り採り入れられていないからといって、英語の外来語に対する包容力が低いということとはできない。

4. 収録されている日本語の語義の検討

辞書に収録される語の語義はもちろん正確に記述されなければならない。いわんや世界的に最も権威あるOED²であるから尚更のことである。しかし、一方において外来語を収録して、その語に対して正確な語義を与えることは難しい作業である。以下OED²に収録されている日本語の語義を検討した結果

- a. 語義の記述が一部または全部誤っている語
- b. 語義の記述が不十分な語
- c. その他

を抽出して、分類記述することにする。

- a. 語義の記述が一部または全部誤っている語

- (1) daimio: The title of the chief territorial nobles of Japan, vassals of the mikado, now abolished.

例えば『大辞林』によると、「大名は①江戸時代，将軍直臣で知行1万石以上の武士。単に大名という場合はこれをさす。⁸⁾」とあるように，noblesは正しくないので，これを warriors または rulers に，さらに mikado は shogun 等と訂正する必要がある。その点 Webster⁹⁾ は one of the former feudal barons of Japan who were vassals of the shogun but had extensive powers in their own baronies. と正確な定義を下している。

- (2) gobang: A game of Japanese origin, played on a chequer-board, each player endeavouring to get five pieces into line before his opponent.

gabang は日本語では「碁盤」と書き，碁を打つのに用いられる盤のことであるから，さしずめ A square chequer-board on which the game of go is played between two persons. とでも定義することができよう。OED² の定義では碁盤でなくて，「五目並べ」である。因みに，RHD¹⁰⁾ も gobang を a Japanese game played on a go board with players alternating and attempting to be first to place five counters in a row. と定義し，さらに Also, go-ban. Also called go-moku. として碁盤と五目（並べ）を混合している。

- (3) heimin: In Japanese society of the feudal period, the common

people, including the peasantry, craftsmen, and traders, as contrasted with the court aristocracy and samurai (the warrior class).

しかし、平民の呼称ができたのは封建時代¹¹⁾であるが、さらに戦後の1947年（昭和22年）まで続き、今日はこの呼称は廃止されている。したがって単に In Japanese society of the feudal period だけでなく、In Japanese society of the feudal period and before the end of World War II を加筆し、さらに This social system was abolished in 1947. と加えるべきである。

Web3 もまた heimin を the class of commoners consisting of peasants and laborers and traders in the Japanese social scale. と定義して、今日この社会的階級が廃止されていることに言及していない。

- (4) Kempeitai: The Japanese military secret service in the period 1931–1945.

日本の憲兵は1881年（明治14）に当時の陸軍卿大山巖がフランスの軍事警察制度に倣って創設し、日本の敗戦と共に消滅した。したがって1931–1945でなくて、1881–1945でなければならない。また憲兵の本来の任務は軍隊内の犯罪の取締り捜査や軍事秘密の保護などにあったが、昭和に入って軍国主義の抬頭と共にその任務は次第に拡大して、警察と共に一般民衆の治安維持にまで及び、遂には自由・共産思想の取締り・弾圧に至ったことは記憶に新しいところである。その過酷な弾圧はドイツの秘密国家警察である Gestapo を髣髴させるものがあるので、日本の憲兵隊を「軍の秘密機関」としたのであろうか。

- (5) kotatsu: A wooden frame which is placed over the hearth in Japanese houses and covered with a thick quilt to give an

enclosed area within which people can warm their hands and feet. Also applied to the hearth and the cover together.

今日、床に設けた炉の上に木製のやぐらを置いて暖を取る家庭が果してどれぐらいあるのだろうか。多くの家庭は電気こたつで暖を取っていると思う。こたつの定義としては余りにも古過ぎる。むしろ、こたつの定義は A wooden frame with an electric heater inside which is placed over the mat in Japanese houses and covered with a thick quilt to give an enclosed area within which people can warm their hands and feet. とすべきであろう。

- (6) kuruma: A rickshaw.

車が人力車とは時代錯誤も甚だしい。明治・大正時代ならいざ知らず、世界に冠たる工業国日本では車はいわずと知れた A car である。もっとも、人力車も影の薄い車ではあるが。

- (7) maiko: A girl who is being trained to become a geisha.

『大百科』によると、舞妓は「京阪地方における雛妓（半玉）の名称。（中略）玉代が芸妓と同額で、半玉が芸妓より低い地位にあるのに反し、芸妓と同格の待遇が与えられた。^{1 2)}」とあり、芸者（芸妓）となるために教育を受けている少女ではない。簡単には、A girl who entertains men by dancing. とすべきである。

- (8) mebos: A confection made from apricots dried, flattened or pulped, and preserved in salt and sugar.

mebosは日本の梅干しのことである。この語はOED²によると1973年のC. P. Thunbergの『ヨーロッパ、アフリカ及びアジア旅行記』に初めて出てくるが、この旅行記の中では、I saw several kinds of fruit, the produce of this country [sc. Japan] either dried or preserved in yeast, in a mode which is, I fancy, only practised at Japan or China. The fruit that was only dried, such as plumbs^{1 3)}

and the like, was called Mebos. と述べられており材料は梅または梅に似た果実で、乾燥するかまたは酵母につけて保存することになっている。梅干しが *OED*² の定義のように、アンズの実の塩砂糖漬けではとても頂けない。A kind of food made out of plums, sun-dried and pickled with umesu (a kind of vinegar). とすべきである。

- (9) mokum: An alloy used in metal-work.

「木目」のことである。『広辞苑』によると、「材目の断面に年輪・繊維・導管・髓線などの配列が種々の文^{あや}をなして表われているもの¹⁴⁾」とある。したがって、the grain (of wood)¹⁵⁾などと訂正すべきである。

- (10) norimon: A kind of litter or palanquin used in Japan.

一体現代日本のどの地方の人が駕籠のようなものを利用しているのだろうか。至急訂正の必要がある。当然 A kind of litter or palanquin which used to be used in old Japan. と訂正する必要がある。むしろ現代日本の乗物は “Vehicles, such as trains, trams, cars etc.” とすべきであろう。Web3 も norimon の項で a Japanese covered litter carried by men. としており、記述が余りにも陳腐である。

- (11) roshi: The spiritual leader of a community of Zen Buddhist monks.

例えば『大辞林』は老師を「年をとった師匠。老年の先生¹⁶⁾」と定義し、また『広辞苑』は「年をとった先生または僧¹⁷⁾」と定義している。即ち老師を『広辞苑』の語義に解釈したとしても、仏教には種々の宗派があるので、禅宗で仏教を代表することには難があらう。An elder master or Buddhist monk. と訂正する必要がある。

- (12) sabi: In Zen Buddhist philosophy, a quality of simple,

restrained, and mellowed beauty.

またしても禅宗の哲学が出てくるが、「寂」は本来仏教的理念ではなくて、美的理念であり、茶人利休の茶の神髄として、あるいは俳人芭蕉の俳諧の理念として説かれている。例えば、『広辞苑』の第①項は「古びて趣のあること。閑寂なおもむきのあること。さびし¹⁸⁾み」と定義している。したがって、少なくとも In Zen Buddhist philosophyは削除する必要がある。

- (13) *shokku*: Used to *joc* to denote a shock or surprise in political or economic affairs concerning Japan.

なぜ「ショック」が政治あるいは経済問題に限定されるのだろうか。このことばが初めて文献として載ったのは1971年の10月4日号の *Time* で The President has convulsed Japan with the 'Nixon *shokku*' — his spectacular policy shifts on China and the economy. の中に出てくる。OED²の中ではその後1973年の *Time* 及び1978年の *Encounter* の用例を引用して紹介しているが、いずれも diplomatic *shokku* または oil *shokku* のように政治または経済に係っている。

しかし、本来「ショック」は「予想外のことにあったときの心の動揺。衝撃。¹⁹⁾」であるので、Mental commotion you feel when you meet an unexpected happening, sometimes used to *joc* to denote a shock or surprise in political or economic affairs concerning Japan. とすべきであろう。

- (14) *tenko*: In Japanese prison camps in the was of 1939—45: a muster parade or roll-call of prisoners.

点呼が捕虜に限られているのは正しくない。tenko が最初に紹介されたのは戦後の1947年の J. Bertram の *Shadow of a War* の作品で、They drilled us by the hour … and firmly broke us in to the

sacred mysteries of 'tenko' — the morning and evening muster parade ... that was routine in all prison camps in Japan ... In time even *tenko* lost its terrors. の中に見られる。その後1961年に R. Braddon の *Naked Island in Plays of Year* に I got him a bashing on tenko tonight. の文献が見られる。

OED²に収録されている文献はいずれも第2次世界大戦中の日本軍の捕虜に対する点呼の形で記述されているが、われわれ日本人にとって点呼は a roll-call に過ぎない。

- (15) wabi: In Zen Buddhist philosophy a quality of simple, serene, and solitary beauty of a slightly sombre kind.

前述の12項「さび」のときもそうであったが、「侘び」は仏教（禅）の理念というよりはむしろ、茶道・俳諧などに関して用いられる芸術理念である。例えば、『大辞林』の第①項は「飾りやおごりを捨てた、ひっそりした味わい。茶道・俳諧の理念の一つ。」²⁰⁾と定義している。したがって、In Zen Buddhist philosophy を削除して、むしろ In the tea ceremony and haikai とするのが良からう。

b. 語義の記述が不十分な語

- (1) dan: In judo, a degree of proficiency; the holder of such a qualification.

「段」はもちろん技量の程度を表すことばであるが、なぜ柔道に限られるのであろうか。柔道のみならず、剣道、囲碁、将棋その他でも用いられているので、前半の副詞句を In judo, kendo, go, shogi etc., と改める必要がある。

- (2) dojo: A room or hall in which judo is practised.

またも柔道の道場しか定義されていない。街には剣道場もあれば、空手道場、ヨガ道場もある。オリンピックの競技種目に柔道は

採用されているが剣道は入っていないことから、世界的にみて柔道が剣道よりも人気のあることは分かるが、われわれ日本人の目から見ると片手落ちの謗りは免れない。A room or hall in which martial arts, such as judo, kendo, or yoga are practised. と訂正する必要がある。

- (3) kata: A system of basic exercises of formal practice used to teach and improve the execution of Judo techniques, devised by Prof. Jigoro Kano (1860–1938).

「型」を嘉納治五郎氏が従来の柔術を改良した柔道の型に限定するのはおかしい。『大辞林』は「スポーツ・芸道などで規範とされる一定の体勢や動作。フォーム。^{2 1)}」と定義している。また、『広辞苑』も「武道・芸能・スポーツなどで、規範となる方式。^{2 2)}」としている。したがって、A model or form in martial arts, arts and sports. などと訂正すべきである。

- (4) kyu: In Judo or Karate, the Japanese name for the grade given to the less proficient; such a pupil.

「級」を使って等級分けをするのは、単に柔道と空手のみならず、他にも将棋・囲碁・剣道などがある。^{2 3)} OED²には1937年以降4例が収録されているが、なぜか柔道と空手の場合のみで、将棋・囲碁・剣道の文献は見られない。英語国民から見て将棋、囲碁、剣道などの日本文化としての価値は柔道や空手より劣るのであろうか。前半の副詞句はIn Judo, Karate, Shogi, Go and Kendo etc., と訂正したい。

- (5) mompei: Baggy working trousers worn in Japan.

日本人男性でもんぺを着用する者はまずいないだろう。女性が殊に第2次世界大戦中に政府の奨励もあって愛用したものである。故に mompei の定義を Baggy working trousers worn by women

especially during World War II in Japan. と書き換えれば、より正確であろう。

- (6) obi: A brightly coloured sash worn round the waist by Japanese women and children.

帯を着用するのは日本女性と子供には限らない。和服を着た日本人男性もまた帯をしめなければならない。例えば、*Web3*はobiをa broad Japanese sash wound around the waist over the main kimono and tied at the back²⁴⁾と定義し、また、*RHD*はa long broad sash tied about the waist over a Japanese kimono²⁵⁾と定義しており、女性と子供が着用するとはしていない。*OED*²も women and childrenを除去する必要がある。

- (7) origami: The Japanese art of folding paper into intricate designs.

「折り紙」はもちろん紙を折って手の込んだいろいろの物を作る日本の工芸である。しかし、単に抽象的イメージとしての工芸に止まらず、その作品並びに使用される紙もまた折り紙と称する。例えば、『大辞林』は「色紙で鶴・舟・奴さんなどいろいろな形に折る遊び。折り紙細工。また、それに用いる色紙や折ったもの。」²⁶⁾と定義している。因みに、*Web3*はorigamiを 1: the art or process of Japanese paper folding 2: something (as a representation of a bird, insect, flower) made by origami.²⁷⁾と定義している。*OED*²も上述の定義の後に、Something made in this way and the paper used for this purpose. と付け加えるべきである。

c. その他

tsutsumu: The Japanese art of wrapping or packaging items in an attractive and appropriate way.

OED第2版に収録されている日本語について

もちろん「包む」の意味である。物を包むという行為は日本人独特の行為でもなければ、日本文化固有のものでもない。それにも拘らず「包む」という日本語がOED²に収録されているのは興味深い。

「包む」という語彙の定義に出てくるように、魅力的且つ適切に物を包装することに日本人独特の包装技術が見られる。実際、外国で物を買うと、大きな袋にそのまま入れてしまうか、または簡単な包装をするだけである。日本のように品物全体を覆ってしまう包装はあまりない。但し、日本でも最近はこのような過剰包装はごみ公害の点からみても、反省の気運が芽生えており、簡易包装への動きがあるが、保守的な国民性と売らんかなの商業主義ががんとなって大きな進展はまだ見られない。

OED²に収録されている文献は1975年の*N.Y. Times Mag.* の1例のみで、Each of the 300 packages in the show (called 'Tsutsumu, The Art of the Japanese Package) was purchased in 1974 in Japan, where an object's wrapping can be as important as the object itself. であるが、後半の「品物の包装は中身の品物に劣らず大切である」というのは矢張り外国人からみた場合の日本人の包装に対する考え方なのであろうか。

5. 結び

以上OED²に収録されている日本語291語の一覧表を作成し、それらの語義を検討し、私見に基づきいくつかの語については語義の訂正または補充を行った。OED²は1933年出版された全13巻と1972年から86年の間に出版の補遺4巻及び約5,000語の新語で構成されている。OED第1版の編集作業が始まったのは1878年で、終了は1928年であった。この長きにわたる編集作業の後出版されたOED第1版に続いて編集された補遺の編集作業

中に日本は激動の時期を迎えることになる。日支事変，第2次世界大戦，日本の敗北，復興，世界一の債権大国。このような時代を経て英語国民から日本に対する関心が高まったことは疑う余地がない。しかし，すでに検討したように，世界で最も権威があり最大・最良の辞書とされている *OED*² に収録されている日本語の語義に不十分または誤った記述が見られる。外国語なるが故に正確な定義を与えることの難しさは十分に理解できるが，国際化が進展し，相互の正しい理解が要請される昨今，正しい辞書の記述は欠くべからざるものであるので，語義の不適正な記述は看過することができない。

尚，*OED*² に収録の日本語のみならず，*OED* 第1版に収録の日本語を検索して，両者にそれぞれ収録されている日本語を比較検討し，その推移，趨勢を探り，またアメリカの代表的辞書である *Web3* との比較検討も行いたいと思うが，紙幅の関係で今回は割愛することにする。

終りに，*OED*² に収録されている日本語の検索に当っては，畏友大妻女子大学 長野格教授のご紹介で，高千穂商科大学 佐藤孝一教授のご協力を頂いたことを付記し，両氏に対し深甚なる謝意を述べる次第である。

注 1) 例えば，女性販売員と言わずに，セールスレディといい，食堂でご飯を注文すると，「ライスですか」と聞き返えし，避暑地はサマーリゾートになるなど枚挙にいとまがない。

2) この場合，日本とアメリカは単に被占領国と占領国の関係であるのみならず，アメリカは第1の条件として挙げた政治的，経済的，軍事的あるいは文化的先進国でもあるので，第1の条件のみならず，第2の条件も働くことになる。

3) *OED* 第2版に収録されている日本語は291語であるのに対し，角川『外来語辞典』第2版には27,000の外来語が収録されており，その8割は英語を語源とするものと考えられるので，収録されている英語は21,000語前後と推定できる。

あらかわ そうべえ『外来語辞典』 第2版 角川書店 1977年。

4) *The Oxford English Dictionary Second Edition* OUP. 1989. [*OED*²]

5) *OED*² に judo の定義として A refined form of ju-jitsu introduced in

OED第2版に収録されている日本語について

1882 by Dr. Jigoro Kano……とあるように, judoとju-jitsuは別物である。

- 6) P. Roberts, *Understanding English*. Harper & Brothers, N.Y. 1958. pp.364-365.
- 7) O. F. Emerson, *The History of the English Language*. Macmillan, London 1895, pp.125-126.
- 8) 松村 明編『大辞林』 三省堂 1988「大名」
- 9) *Webster's Third New International Dictionary of the English Language*, Springfield (Merriam). 1971. [Web3]
- 10) *The Random House Dictionary of the English Language* N.Y. Random House. 1979. [RHD]
- 11) 『大日本百科事典』の「封建制度」によると,「(前略)日本の封建制度についても論争が絶えない。日本における封建制度の始期についても,平安中期(10世紀),鎌倉幕府の成立(12世紀),南北朝内乱期(14世紀),大閤検地以後(16世紀)などさまざまである。(中略)さらに日本封建制の終末についても,江戸幕府の倒壊(1867)をもってする説がもっとも有力であるが,封建制の最後の政治形態である絶対主義(絶対王政)の段階が,19世紀30~40年代の天保年間から,初期の明治政権あるいは明治期まで続くとする説もある。(後略)」と,封建制度の期間について解説している。
『大日本百科事典』 第16巻 小学館 1971
『大百科』
- 12) *ibid.* 「舞妓」
- 13) *plums*の誤り
- 14) 新村 出編『広辞苑』 第2版補訂版 岩波書店 1976 「木目」
- 15) 勝俣 銓吉郎編『新和英大辞典』 第3版 研究社 1954 「木目」
- 16) *op. cit.* 「老師」
- 17) *op. cit.* 「老師」
- 18) *op. cit.* 「寂」
- 19) *op. cit.* 「ショック」
- 20) *op. cit.* 「侘び」
- 21) *op. cit.* 「形・型」 ④項
- 22) *op. cit.* 「形・型」 ②項の3
- 23) 他に英検の級や建築士の級などが考えられるが,例えば英検1級や1級建築士はそれぞれの分野で熟練者であるので,この場合にはあてはまらない。
- 24) *op. cit.* obi
- 25) *op. cit.* obi
- 26) *op. cit.* 「おりがみ」 ①項
- 27) *op. cit.* origami